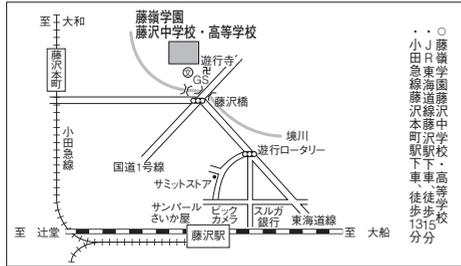


藤嶺学園藤沢高等学校

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-7-1 ☎0466-23-3150 学校長 林 学



に対応していきます。「大学説明会週間」「大学出張講義」「進学講演会」等、進路関連行事も頻繁にあり、大学進学に対するモチベーションを高めることに役立っています。

成績上位者は一貫コースでは高校1年より、高校から入学した生徒は高校2年生から、選抜クラスへの所属が可能になります。高い目標を持った友人と切磋琢磨することによって、進路目標の達成を目指します。

国際教育

高校1年生の希望者を対象に、夏休みと春休みの各2週間、海外語学研修旅行を実施しています。夏はオーストラリア・ケアンズ、春はニュージーランド・タウランガの現地高校にて英語研修と授業参加をします。語学力の向上だけでなく、現地校生徒との交流や異文化での生活体験を通して国際感覚を磨きます。また、高校2年生および中学3年生の希望者を対象とした約3カ月のターム留学の機会も用意しています。

環境・施設設備

2つあるグラウンドは人工芝で、体育の授業だけでなく休み時間にも開放されています。また、学食はリニューアルされてきれいになり、成長期の男子のおなかを満たしてくれています。中学生は学食のお弁当を注文することが可能で、中学棟まで届けてくれるため保護者からも好評です。

藤沢駅から徒歩15分、藤沢本町駅からは徒歩13分と交通アクセスも良く、寺に隣接していることから緑も豊かで、静かで落ち着いた環境で学ぶことができます。

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

生活指導・心の教育

「当たり前のことが当たり前ができる」ことをモットーに、全教職員が一丸となり、時には厳しく、また温かく生徒に接し、きちんとした日常生活を習慣づけるよう指導します。また、いじめ等の問題には厳しく対応していきます。

スクールカウンセラーもおり、様々な悩みを気軽に相談できる体制が整っています。

学校行事・クラブ活動

球技大会や弁論大会など様々な行事があり、藤嶺祭(学園祭)・体育祭では生徒による実行委員会が主体となって企画・運営を行っています。また、時宗について学ぶ「学林」の時間も設けています。

クラブ活動は、運動部14部・文化部14部が活発に活動しています。バレーボール部は全国制覇、野球部は甲子園出場の経験があり、県下の強豪として知られています。

データファイル

2025年度入試日程

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
2科4科	20 1/8~1/30	2/1	2/1	1次2/4 2次2/8
2科①(特異)	50 1/8~1/30	2/1午後	2/1	
2科②	20 1/8~2/2	2/2午後	2/2	1次2/6 2次2/8
得意2科A	10 1/8~2/3	2/3午後	2/3	
得意2科B	5 1/8~2/5	2/5	2/5	

高等学校 ※書類選考方式は書類のみ

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
推薦	15 1/16~1/18	1/22	1/23	1/25
I期一般A	80 1/24~1/31	2/10※	2/11	3/1
I期一般B	10 1/24~1/31	2/11	2/12	3/1
II期一般	若干 2/28~3/1	3/2	3/2	3/3

2025年度選考方法・入試科目

中学校
2科・4科：2科か4科選択 ※配点・時間：国・算＝各100点50分 社・理＝各70点40分
2科①・②：国算 ※配点・時間：国・算＝各100点50分
得意2科目選択型A・B：国算、国社、国理、算社、算理のいずれか(各100点50分)
〈面接〉なし

高等学校
推薦：書類審査、面接、作文(50分)【出願条件】あり 各種検定、部活動実績、3力年皆勤、説明会参加者などは加点
一般：国語、数学、英語(I期はリスニング含む)、面接 I期A書類選考方式は書類選考のみ I期Bは3科のうち英・数または英・国の得点の高い2科の合計点で合否を判定。
〈配点・時間〉国・数＝各100点50分 英＝100点60分 (II期は50分)
〈面接〉生徒個人 重視

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

〈URL〉<https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>

沿革 前身は鎌倉時代の一遍上人が開いた時宗の総本山・清浄光寺(遊行寺)の僧侶養成機関である「時宗宗学林」です。1915年旧制藤沢中学校として認可され、学制改革後、藤嶺学園藤沢高等学校となりました。2001年に中学校を開校し、2025年に創立110周年を迎える伝統ある学校です。

校風・教育方針

「質実剛健」と「勇猛精進」を校訓とし、男子としての「逞しさ」と「打たれ強さ」を育む教育を実践しています。茶道と陶芸を必修科目とし、日本人としてのアイデンティティを確立したうえで「国際理解教育」を重視し、変化する時代に対応しながら国際社会でも生き抜く人材の育成を目指しています。生徒たちが多様な文化や価値観を理解し、国際的な視野を持つことで、ローカルからグローバルまで様々な舞台上で活躍できる力を養います。

カリキュラムの特色

学習指導要領にある学習内容を、やるべき教育の最低基準に定め、基礎力の定着を図りながら応用・発展的な内容に対応できる学力の習得を目指します。大学受験に求められる学力を身につけると同時に自学自習力を高めるために、藤嶺アフタースクールラーニング(TASL)という独自の放課後学習システムを導入し、生徒の主体的な学習姿勢を育みます。また、補習や勉強合宿など授業以外の学習機会を豊富に用意することによって、学習支援を行うとともに、意欲ある生徒のニーズ